

UNITE  
FOR  
GOOD

Rotary

# 草加松原ロータリークラブ

2025-26年度 UNITE FOR GOOD (よいことのために手を取りあおう)



第639回 例会 10月7日 草加市文化会館

## ＊＊本日のプログラム ＊＊

開会点鐘	会長挨拶
君が代斉唱	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
ロータリーの目的	SAA報告
四つのテスト	出席報告
お客様紹介	閉会点鐘

誕生祝・結婚祝

## 9月30日の例会記録

- ◆ お客様 清勝院住職 杉村彰洋様  
草加あおはる食堂 川口由美様
- ◆ 会長あいさつ 木村博行会長

皆さんこんばんは、1週間空いたその前にガバナ一公式訪問が早々と終わりましたけれども、その時の出席率が85.25%だったのですけど、今日はいきなり多分10%ぐらいになったのかな！今日は、市内で10月に向けて色々な会議が重なっているものですからね！

また、今日は以前から楽しみにしていた杉村さん、ちよたくということで、加藤さんにお骨折りをいただきました。それから岡本さんも凄く楽しみにしていました。今日は卓話を聞かせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

会長で会員企業を回ってみようということで、まず黒川さんの所に行きました。残でしたがお留守でした。その近くにある内藤さん宅にいきましたがお留守かなと思っていましたら丁度帰ってきました。これからなるべく参加しますっていうことでしたが、今日も来ていませんね！色々な会員さんの所を訪問させていただいて、そうしたらガバナー公式訪問には結構来ていただきました。これからも、まだ行ってないところが結構あるので、そうですね、関根さんの所はまだ行ったことないし、二階堂さんの前はよく通るのですけど、お店の中には行ったことないので、またそういうことで、いきなり訪問と言う事で、皆さんの会社を訪問しようと、訪問というより突撃しているようなイメージですけど、またお伺いしたいかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

それから、今日は「あおはる食堂」の川口さんが来ていただいております。今日は代表の新井さんは、ご都合がつかないようで、代わりに今年度の支援金受け取りに来て下さいました。また12月、クリスマス会なのか、お餅つきなのかわかりませんが、我々もまた応援に伺いたいと思っておりますので頑張ってください。

それでは、皆さんも杉村さんの卓話を楽しみにしたいと思います。ありがとうございました。

## 幹事報告

## 安田洋介幹事

皆さんこんばんは、幹事報告をいたします。公式訪問の時に話がありましたが、2026年台北国際大会、6月13日～17日台北ドームにて開催ということになっております。登録料が12月15日までの申し込み登録であれば475ドル、それを過ぎますと3月31日まで570ドルということで、変動するので、ご参加を予定されている方はお早めにお申し込みください。

＊2770 地区主催 サイバーセキュリティセミナー

開催日 10月21日 19:00～

場所 浦和コミュニティセンター

参加費無料、参加希望者の方はお声掛けください。

＊「今こそ仕事の話しよう」

開催日 11月1日 17:00～

場所 浦和 ベルヴィ武蔵野

登録料 ￥7,000

＊埼玉子ども応援フェスティバル

ローターアクトの補助金事業です。

開催日 10月12日(日) 10:30～16:00

場所 川口市並木元町公園

自由に参加できますのでお時間のある方はご参加下さい

国際ロータリー第2770地区第9グループ

## 草加松原ロータリークラブ

会長：木村 博行  
幹事：安田 洋介

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp





## 卓話 基本的教育と識字率

清勝院住職(みひかり幼稚園理事長)

杉村 彰洋様

皆さんこんばんは、先ほど開会の歌を歌ったり、「四つのテスト」懐かしく聞いていました。私も八潮 RC に一時期入っていましたが、なかなかずっと続けられない感じで辞めてしまいましたので恥ずかしい限りです。今日ここへ来ること、加藤さんとは同級生ですから声をかけられたのですけど、軽く受けたのは間違えだったと思いました。「いいよ！」と返事をしてしまいました。時間が経ちよくよく考えるとロータリーさんに行ってお話するのは難しいな～大変だな～と思いました。今もちょっとドキドキしているのですけど、私も当時出席委員をしていましたが、今日は出席が悪いと先ほどおっしゃっていましたので、そういえば出席委員は、そんなことで苦労しことを思い出しました。

今日の題名の「基本的教育と識字率」ということで、識字率を調べなくてはいけないかなと思い、調べてみました。日本の識字率は100%ではないのです。99%という風に出ていました。世界で28位ということ、なぜ100%でないかということ、戦争中に学校に行けなかったという方を含めるとのことらしいのです。もっと読み進んでいくと、北朝鮮だとか中国とかは100%なのです。少しおかしな～という風に思うのですけれども、そういう中で、日本の識字率が、公立っていうのは当たり前でしょうけど、今は学校に行く子はほとんど読めるわけですよ！でも、就学率が100%ではないです。99.6%という数字が載っていました。今は無理に学校行かせないとか、婚外子、戸籍の載らない子、そういう子がいるようでして、学校に行っていないということ、でも学校に行かないから字が読めないというわけではないでしょうけども、いろんな形で字が読めたり、識字の中には計算だとか読解力とかも入るのでしょうけれども、字が読める、字が理解できるというところでは日本では大変高率！これはアフリカだとか途上国に比べての話ですが、先進国としては99%以上の識字率、学校教育が整備されているということです。識字率が低いと、どのような損失があるのか！やはり生活に必要な情報が得られないとか、それから詐欺や危険な目には騙されてしまう、それから仕事が得られない！これは発展途上国の話だと思います。なぜ識字率が低いのか、教育を受ける学校がない、女性の差別、女性は教育を受ける必要くない！そんな形で女性の差別あるということから、戦争・紛争が絶えないということでしょうか。我々にできることは何かということ、私たちそれぞれに、今ロータリーさんで、寄付とか、そういう形で世界中にしているという形で、少しずつ世界中のロータリアがしているという形が1番かなという風に思いますけど、私としては、幼稚園教育というのを充実していくというところで、識字率というのは、あまり頭になかったのですけれども、今回話をいただいて、幼稚園の識字率、あまり考えた事ないと言う事で改めて考えてみました。

ちょっとお話をさせてもらえば、うちの園のカリキュラムとしまして、毎朝、詩の暗唱をしているのです。詩を読んでいます。このような詩集を作りまして、年長・年中・年少とあるのですけれども、最初にどの学年も、最初に番ごういう詩を暗唱します。「ありがとう」という詩です。「**ありがとう ありがとう 言えばとってもいい気持ち 言われりやもっという気持ち ありがとう ありがとう**」これを毎朝1ヶ月やっていると、やはり子どもの心は、その言葉で成長していくというものがありますから、そのこの詩を暗唱することによって、言葉がどんどん、どんどん蓄積されていく、色々な言葉、そして意味を考えることになるという、そういうところで、この「ありがとう」という詩は、とっていい詩だなという風に私自身は思っています。これで、ありがとうの感覚というのですか、「ありがとう」と言うことよりも、言われる方がもっという気持ちなんだという、そんな感覚っていう、それを持つてるといのは、これから大人になっていく上で、だいぶ違うだろうという風に思うのです。よくお子さんを連れてくるお母さんが、何かもらうと、「ありがとう」でしょ！言いなさいなんてやっていますけれども、そのありがとうっていうよりも、本当は自分がありがとうって言われた方がもっという気持ちがある！心がウキウキする！心があつたかくなる！そんなところが子どもたちの成長にすごい大きな影響を与えるという風に思っています。そしてそれがひいては言葉、字を読むということ、そういうところに繋がっていくという風に、改めて加藤さんのお話をいただいて思いました。

読む時には、子どもたち、最初は、これを見てもわからないのですけれども、先生と一緒に指で追っていくのです。そんなことを詩の中で子どもたちは成長していくという風に考えるのです。これを毎年4月・5月の2ヶ月をかけてやって、そしてもう少し進んでいくと9月、10月になると「気持ち」という詩が出てきます。

やしい気持ちはふわふわしている 怖い気持ちはぶるぶるしている 寂しい気持ちはほぞほぞしている 嬉しい気持ちはぴよんぴよんはねる」自分の気持ちを言葉にできるようになるのではないかな！その優しい気持ちとか、怖いという気持ちっていうのは、どんなふうに表示できるのだろうか！それが、今度自分で文章が書けるようになった時、学校に行くと作文する時に、「ふわふわ」とか「ぶるぶる」とか、そういう言葉が何を表すのか、「ぶるぶる」というのは、携帯が「ぶるぶる」鳴っているだけではないのです。心の震え「ぶるぶる」という風に表現できるのだという。

それが、怖い気持ちだけじゃなくて、もっと違う気持ちにも使えるのではないかなという風にも、この詩の暗唱というのにはできるという風に思っています。詩をこんなふうにしてたくさん、たくさん暗唱して、子どもは本当によく覚えていきます。長い詩も覚えてしまいます。皆さんもそういう時あったと思うのですが、もうダメでしょうね！私もお経を読むのですけれども、子どもの時に覚えたのよく覚えているのですけれども、最近では、なかなかもうだめですね！もっとも最近では覚えるようなお経はないのですけれども、間違えるとか、そんなことがあって、ぱっと思っ見てすぐに出てこなかったりとか、そんなことがあります。3月に行きますと、「友達」という詩をやるのです。「**友達を大切に人がいます 友達を傷つける人がいます あなたはどちらをする人になりますか 生きて辛いことや寂しいことがあった時 いちばん嬉しいのは友達が優しくしてくれることです力を貸してくれることです。あなたは絶対友達を大切に人がなってほしいのです あなた、友達と仲良くしてね**」という詩が2月・3月にこれを暗唱することにしています。

いじめだとか、悪口とか、そんなことを覚えなくてはいけない。いじめられたら嫌なのだ！自分が嫌だし、言われた方もいや！そんなことを、この改めてお説教みたいに言うのではなくて、こういう詩を暗唱することや、自分の心の中に残っているというのはとても大事だろうという風に思っています。友達を傷つける人がいます。そういう人もいるのだよっていう。あなたはどっちの人になりますか！という選択肢ですよ！子どもの時に、ああいう人とこういう人という、世の中はそういう人がいるのだという、そんなことも実際の生活の中で意地悪する人、必ずいるわけですよ！でも、優しくしてくれる人もいます。そんなところを、人と人の付き合いというのですか、それはとっても大事にしていかなきゃいけない部分ですし、嫌な人だから殴っていいのかっていうことでもないわけですから、嫌な人は嫌な人、どうやったら一緒に遊べるようになるかなという部分も考えていかなければいけないですから、そんなところもこの詩を元にして、同時に、帰りには鞆を背負って、あと帰るだけという前に必ず読み聞かせをしています。色々なお話をします。皆さん、ご自分のお子さんにお話をして寝かせつけたことがあるのではないですか！そうじゃなくても、本読んでという風にせがまれたこともあるのではないですか！読んであげると、また同じ本読むの！というくらいに子どもたちはお話が好きですし、すごく印象に残っている部分があるんだろうと思います。それを毎日先生がお話を1冊ずつする。もう身を乗り出して聞いています。それで、今度は詩と詩で培った自分の言葉と先生が読んでくれるお話の中に、想像力を働かせて入り込んでいく。それが子供の成長にとっても大事だし、必要なことなんだろうなという考えたところですよ。

私が園だよりで園長のお話として書くことがあるのです。そんな時に、こんなお話というか、文章書いたことがあるのです。俳優の高倉健さんが亡くなってから何年か経ちますけれども、その高倉健さんのエッセイを読んだことがあるのです。その中にお母さん、僕はあなたに褒められたくて、ただそれだけで続けてこられたという。俳優という仕事を、僕はあなたに褒められなくて、ただそれだけで続けてこられたという一文ですから、もっと前後があるのですけれども、その文を見た時に、そうだな！自分もそんな記憶があるなということが蘇ってきました。うちの母親などは戦争で空襲があったものですから、必ず枕元に、寝るときには洋服を畳んで置く、それを言われたのです。きっとそういう方もいらっしゃるのではないかなと思うのですけれども、必ず畳んで寝るのだよと言われて畳んで寝ると、上手だったね！と褒められた。あるいは、箸が上手に持てるようになると、上手ね！と褒めてくれる。それから私の母は文部省の書道の師範を持っていましたから、私によく字を教えてくださいました。筆の持ち方、筆の入り方、それじゃない、うん、それでいいっていう、1回ずつ教えてくれて、随分習字が好きになったのですけれども、上手くなったね！上手になったね！とよく褒めてくれました。父親は山に見に来ると、上手くなったな！と言ってくれる、父親の一言というのは、確信が持てるのです。本当に上手くなったのだ！そんなところで、母親と父親、その2人からの言葉っていうのは、とてもありがたかった。それが、高倉健さんのその一文をこう読んで、そんなことが蘇ってきました。「父とともに蘇る愛も 母とともに蘇る愛も 愛もは、命の糧となる」サトウハチローの詩です。

この詩を私の中でちょうど結び付いたのです。それを園長代理として出したことがあるのです。

皆さんはどうか、今日ね、僕幼稚園でねっと言っている時にさ、スマホばかりやっていて、生返事しているようでは、子どもは育たないのではないですか！何気ない言葉、何気ない行動に気がつく目や耳をお母さん持ってほしいですね！普段はそんな言葉を無視するというか、生返事しているのにちょっと違うことやると、てめえ何やっているんだよなんて、最近のお母さんすごい言葉使うなと思ってびっくりしちゃうのですよね！私らの年代の人は、お母さんそんな言葉は使わなかったと思うのですけど、今のお母さん、意外と汚い言葉使うのですよね！子どもに対してですよ！子どもに対して馬鹿じゃねえかお前は！とか、平気でね！そんな中でも、家庭での何気ない親子の会話はとっても大事になってくる！よく育てたように子は育つ！当たり前、子どもに語りかけたようにという風に言い換えることができんじゃないでしょうか！育てたように、語りかけたように育つという、そんなことが子どもの成長に大きく影響するんだろうなという風に思っています。慈愛に満ちた言葉をいっぱいかけてください。

子どもはよく見えています。お父さんやお母さんが軽い、チャラチャラしているは、やはり子どももチャラチャラした感じではしかこの大人を見なくなっちゃうわけですよ。そんな時に、命の根っこは、どこで育つかっていうと、家庭で親子の会話の中で親の姿を見て、命の根っこが育つのだろうなという風に思っています。それはやっぱり命の根っこっていうのは、人間生きている。親亡き後を生きているのは子どもですから、いつまでも親がいるわけじゃない。親亡き後1人ぼんと世間に出された時、学校とは違うわけですよ！もっと苦労して色々努力している大人がたくさんいるわけですよ！人様に頭を下げて、下げて、そして生きている父さんの姿も、無言で一言も喋らずに畑仕事や自分の仕事に勤しんでいる、努力しているお母さん。そんな姿を見ることで子どもは育っていくはずですよ。

これは本堂にいつも貼ってあるのですけど、ちょっと読んでみます。

「命のね 涙をこらえて悲しみに耐える時 愚痴を言わずに苦しみに耐える時 言い訳をしなくて黙って批判に耐える時 怒りを抑えてじっと屈辱に耐えるとき あなたの目の色が深くなる 命の目が深くなる」今、ロータリ안의皆さんには、きっとこのあの詩が当てはまるのではないのかなと私は思います。それぞれに事業を立ち上げて、あるいは継承して頑張っている皆さん、このいろんなことに耐えてきているという部分。それは世間の人が見ているし、また近くでお子さんや家族が見ているはずですよ。それを、この子供たちが必ずやそれを見て、お父さん頑張っているのだなという感想を持ち、それをこう自分の今度は人生に生かしていこうということに繋がってくるんだろうなという風に思っております。

人間と子どもたちもそうですけれども、色々な方と接して、どんな時に心が動くのだとかお考えになったことあるでしょうか！人は感動した時に、心が動くのです。理屈じゃないのです。理動とは言わないのです。感動です。それは決して自慢話したからとか、そういうことで感動する人はいないわけですよ！こんな姿を見て感動、心が動かされるわけですから、幼稚園で詩の暗唱をすと言いましたけれども、その前に発声練習をするのです。

仏様は飾ってありますから、その前で、まずは誓いの言葉「みんな仲良くいたします みんな決まりを守ります みんな元気に遊びます」という風に誓いの言葉をしてから発声練習をするのです。あああ……ああいい……という風に毎朝発声練習をするのです。今日も元気に1日が始まったなというふうにして、子ども達は元気だ、という風にする

「母さんはバームクーヘン 限りない小言の渦巻 小言の渦巻 渦巻を召しがれ たくさん召し上がれ 黙って食べるとその夜お母さんはよく眠れるのです よく眠れるのです」という、サトウハチローの詩です。そんな詩を見つけてこれを載せたのです。先生はお母さんではないですからね！小言の渦巻きにはならないのですけれども、お母さんの小言の渦巻っていうのはなかなかいいものだなという。きっと大人になった時にお母さんを何で思い出すのか！スマホばかり見ているようなお母さん、あれがおふくろだったというじゃなくて、やはりなんか色々世話をやいてくれた母親っていうんですか！あるいはちょっとしたお花に綺麗だね！お花だって命があるんだよという、そんな一言に子どもは感動して、それがお花を見ると、ママだという！そんなことを思います。それぞれ10億の人に10億の母がいる、それぞれのお母さんに、それぞれの感動が潜んでいる。

でも、そのお母さんに会えなかった人、お母さんの愛情に触れられなかった人のことも考えなくてはいけないという風に思ったりします。お母さんに、施設に預けられたとか、そういうお子さんもいるわけですよね！そんなことも思うと、お母さんとどれだけ会話できたのかな！サトウハチローの詩に「秋になったね」という詩があるのです。

「秋になったねと母は言う 春には春が来たねという母が秋にはなったねと必ずいう 母の言葉の使い分け その美しさ 面白 秋風の中に立ち なったねを繰り返す 私も繰り返す」最近の清々しい空気の中で、ああ、秋になったなという思いにさせられるっていうのですかね！すごく秋の、春は、春が来たな～暖かくなってきたな～という感覚と違う、あの暑さからようやくという、そんな母の感覚というのを言葉に持たせてあげられたらいいなという。

やっぱりこう、それは、言葉という中に言葉の持っている素晴らしさっていうのですかね！人間性にも繋がってくるわけですから、言葉をたくさん知っているということは、その人の人間性にも繋がってくるんだろうな、優しさだとか、深みだとかいうものに繋がっていくのだろうなという風に思っています。

今、「成績のいい子は間違った」という本をちょっと読んでいます。ですけど「非認知能力」という風に言われています。それは、粘り強さだとか、同じ宿題やった時に、わからないとやめてしまう。なんとか解いてみようという、そこで粘り強さ、諦めない。そこに、それだけではなくて、集中力、人とのコミュニケーションです。これどうやってやるかな、すぐに聞きに行けるっていう友達と意見を交わすこと、そういう「非認知能力」が成績をよくし、そしてその他に語彙力だそうです。言葉の力、本をどれだけ読んでいるかということにも繋がってくるということだそうでございます。そんなことを本でちょっと読みました。

今日は私、熊谷で「御詠歌」という指導をしてきました。「御詠歌」って聞いたことあるでしょうか。「御詠歌」は恥ずかしいですけど、私は師範なものですから、熊谷の支部の人たちに、指導、教えてほしいということで、毎年、もう20年行っているのです。今日行って、教えてきました。お大師さん、弘法大師、西新井大師様に繋がるのですけど、お大師様のご威徳を歌ったご縁があるのです。お大師様は弘法大師が「種芸種智院」という学校作ったりとか、世の中のお苦しみを見ていられないっていうんですかね、そういう、天皇陛下に常総して、いろんなものを作ったりとかね、そういう形で、世の中の人を救ってきたというんですけども、そういうのを「ご威徳」とって言うのですか、いくつか挙げているのです。幼稚園の園長も、住職もしています。今日はありがとうございました。

### 草加あおはる食堂 川口由美様

皆さんこんばんは、「草加あおはる食堂」の川口と申します。今日は代表の代わりとして来ました。毎年たくさんのご支援をいただきありがとうございます。

先週土曜日にも開催を致しまして100名程度の方がいらっしゃいました。これからも沢山の方に美味しいものを届けられるよう頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



### 今後のプログラム

- 10/14 卓話 草加市体育協会会長 レセプション  
並木正成様
- 10/21 卓話 英語弁論大会入賞者 中央公民館
- 10/28 移動例会 シュガーヒル

### 9月30日 ニコニコBOX

金額	16,000円	累計	232,000円
----	---------	----	----------

### 9月30日 出席報告

会員総数	36	出席	12
出席免除	4	MU	2
出席適用	32	出席率	43.75
ZOOM参加	来栖勝幸会員		

- 木村 博行会長 清勝院住職 杉村様、本日の卓話楽しみにしていました。宜しくお願い致します。そろそろ秋の足音が聞こえてきました。体を動かしましょう！
- 安田 洋介幹事 本日は清勝院ご住職 杉村彰洋様、卓話楽しみにして参りました。宜しくお願い致します。
- 飯山 英彦会員 清勝院住職 みひかり幼稚園理事長 杉村彰洋様、卓話ありがとうございました。あおはる食堂様ようこそ！
- 牛山 信康会員 杉村様本日の卓話宜しくお願いします。先日、大阪万博へ行って来ました。めちゃくちゃ疲れしました。
- 加藤 芳隆会員 杉村彰洋 清勝院住職 (みひかり幼稚園理事長) お忙しいところ卓話ありがとうございます。楽しみにしております。よろしく願いいたします。
- 田中 和郎会員 松並木の彼岸花が今見頃を迎えています。杉村住職、卓話ありがとうございます。
- 富永 悟会員 すみません、遅刻しました。
- 二階堂祐司会員 日曜日に足立区の消防団の合同演習に呼ばれて見学してきました。皆さん仕事があるのに、いつ訓練しているのが感心させられました。杉村彰洋様ようこそ！
- 長谷部健一会員 杉村彰洋様、本日は卓話ありがとうございます。
- 山崎 秀美会員 清勝院、杉村様卓話宜しくお願い致します。お客様ようこそ、だいが生活しやすい感じになってきました。